

徒然想

先日、東北を訪ねた際に、ずんだを使った様々なお菓子を頂きました。ずんだは、枝豆またはそら豆をすりつぶして作る緑色のペーストのこと。その爽やかな味が印象的でした。私事で恐縮ですが、震災復興応援のための小さな活動を続けながら訪れた南三陸、仙台、相馬、南相馬。それぞれの街でそれぞれに感じるものがありました。そして今、熊本の状況も気になるところです。引き続き自分にできることを、まめに地道に続けていこうと思った次第です。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

第12回 3次元計測フォーラム「SPAR2016J」のご案内

2016年6月1,2日の2日間、「-3次元が当たり前のツールに、革新の時代は去った-」と題し、川崎市産業振興会館(川崎市)において、第12回 3次元計測フォーラム「SPAR2016J」が開催されます。

このフォーラムは、3次元計測に関わる関係者が毎回700人程度が集い、最新技術を展示し情報を交換する場です。対象領域は、プラント、建築、移動体計測、文化財、UAV、土木・測量といった広い用途が対象で、弊社は、UAV、土木・測量分野において、司会進行を担当させていただきます。

現在国土交通省が、建設現場の生産性向上に向け推進している「i-Construction」や「CIM」を実現するためには、3次元計測技術が必要不可欠です。

そこで「UAV分野」では、東京大学の布施孝志准教授に、i-Constructionの概要と、新基準の「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)」の基本的な考え方について基調講演していただきます(図1参照)。また春田健作氏((一財)京都府技術サポートセンター)からは、自治体としての新技術-UAV導入の取り組み事例を、増田稔氏(㈱日創建)からは、民間としてのUAVのi-Constructionへの取り組みについて紹介していただきます。

また「土木分野」では、松原昌喜氏(北九州市道路公社)に、我が国最初の長大吊橋である「若戸大橋」における膨大な点検結果をCIMの3次元モデルと連携させ一元管理した事例について(図2参照)、そして田邊和史氏(㈱地層科学研究所)には、上記と同じ構想に基づくソフトウェア Geo-Graphia の機能について紹介していただきます。その他弊社の加藤淳からは、鉄道会社が管理するトンネル、橋梁施設への走行型画像計測やUAVの安全活用と、埋立工事へのi-Constructionの活用事例についても紹介します。

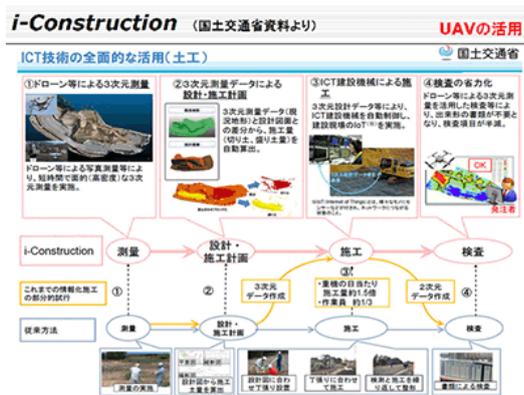


図1 i-Construction UAVの活用

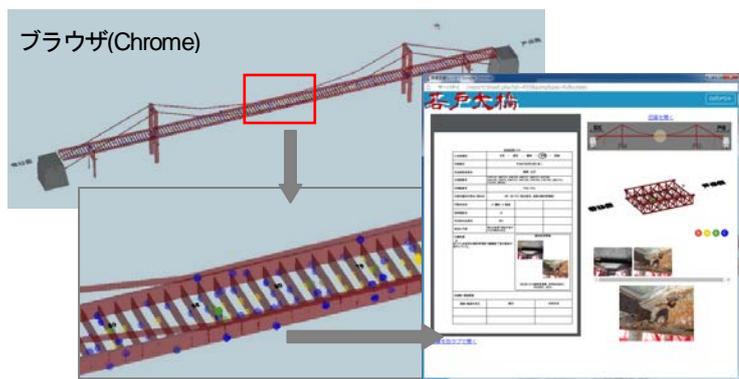


図2 若戸大橋におけるCIMを活用した点検結果の管理

※詳しくは、弊社ホームページもぜひご覧ください。<http://www.krcnet.co.jp/topics/topics97.html>

●参加ご希望の方は、下記のHPから会議(有料)のチラシを出力してご参加ください。(展示会は無料)

SPAR2016J HP <http://www.sparj.com/> (チラシ <http://www.sparj.com/SparJ/Spar2016J/chirasil.pdf>)
 (プログラム <http://www.sparj.com/SparJ/Spar2016J/program2016J.pdf>)

(株)計測リサーチコンサルタント HP:<http://www.krcnet.co.jp> Mail:krc@krcnet.co.jp 問合せ:<http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>